

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401053		
法人名	有限会社 アイケア北海道		
事業所名	グループホーム アイケア手稲		
所在地	北海道札幌市手稲区富丘2条6丁目2-1 (電話) 011-691-1201		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年9月4日	評価確定日	平成20年9月22日

【情報提供票より】(平成20年8月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月30日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	26,000~35,800 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(72,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,300 円		

(4) 利用者の概要(8月24日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	8 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 78.6 歳	最低	56 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくら内科クリニック さくら歯科クリニック 西成病院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広報委員会、食事委員会、行事委員会、身体拘束廃止委員会が組織されケアサービスの質の向上に取り組んでいる閑静な住宅街に開設されているグループホームです。また、入所や退所の際には、小豆の種類、好みなど本人の希望に沿った赤飯が必ず用意され家庭的雰囲気や馴染みの関係作りに取り組む工夫も実施されています。リハビリエステの取り組みでは、専門家を招いてお化粧品など行われ利用者の顔や目の輝きが増して、普段行かない場所への外出が楽しみごととなっています。共用の空間では、訪問のパン屋さんなどの販売が行われ楽しみごとになっていたり、利用者の希望や好みに応じた食事の提供、慣れ親しんだ床屋での散髪など支援されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、行政とのさらなる連携について改善課題としてとりあげられていましたが、札幌市や手稲区の連絡会議や管理者会議、「ふれあいフェスティバル」への参加などで地域の広報やホーム機能の還元に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気付きや改善への取り組みとして有効利用されています。フロア会議やカンファレンス等で自己評価及び外部評価の結果について話し合われ具体的改善に活かす取り組みが行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在2回実施されています。議題は 1日の生活の様子、利用状況 自己評価及び外部評価の結果について 地域住民からの要望・助言・質問 利用者・家族からの要望・助言・質問 音楽療法について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族に定期的に「アイケア手稲」だよりを発行して、外出ツアーや運営推進会議の内容など報告されています。また、来訪時には日常生活の様子や健康状態など話し合われ要望や意見などが表せる機会も作られています。状態変化時には、都度電話連絡が行われ要望や不安などへの対応が実践されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 区の福祉事業者が共催する「ふれあいフェスティバル」を通じて広報活動に努めると共に町内会加入で公園清掃やリサイクル活動に参加するなど地域との連携が行われています。また、ボランティアや実習生の受け入れ、地域協力員との連携など日常生活を通じて認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることができるように事業所独自の理念をつくりあげ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、具体的な年間目標、月間目標を理念の実践にむけて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	区の福祉事業者が共催する「ふれあいフェスティバル」を通じて広報活動に努めると共に町内会加入で公園清掃やリサイクル活動に参加するなど地域との連携が行われている。また、ボランティアや実習生の受け入れ、地域協力員との連携など日常生活を通じ取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気付きや改善への取り組みとして有効利用されている。フロー会議やカンファレンス等で自己評価及び外部評価の結果について話し合われ具体的改善に活かす取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在2回開催されている。委員は利用者、家族、町内会役員、民生委員、地域協力員、包括支援センター、管理者・職員で構成され具体的な意見交換が行われ議事録として維持されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区主催の福祉事業者が共催する「ふれあいフェスティバル」、管理者会議での連携や札幌市主催の連絡協議会を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、出前講座の利用などを通じてより一層の連携が深められることを期待します。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ふれあい日記」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などが詳細に報告されています。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。金銭管理は、毎月出納帳で報告されています。</p>		<p>特筆すべき点として、定期的に発行されている「アイケア手稲」通信が見やすく分かりやすく、出来栄が非常に素晴らしい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族に定期的に「アイケア手稲」だよりを発行して、外出ツアーや運営推進会議の内容など報告され、来訪時には日常の生活の様子や健康状態など話し合わせ要望や意見などが表せる機会も作られています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間の見やすい場所に職員の紹介が掲示され、その日の勤務者が分かるように情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市主催の管理者研修や地区の研修など外部研修参加が行われている。また、同一法人内の管理者研修やフロアー会議、申送りなどで職場内研修が実施がされ職員を育てる取り組みが行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区の管理者連絡会主催のスタッフ研修や実践者研修参加で他施設との交流が行われている。また、同一地域の同業者や同一法人内のグループホームの見学など相互訪問も実施されている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得したサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と一緒におやつ作りや食事の準備をしたり、生協に買物に出掛けるなど、本人の思いを大切に支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望をセンター方式で職員間で共有して、おやつ作りやぬり絵、買い物、動物園見学や餅つき大会など本人の意向を尊重した取り組みが行われている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、リハビリエステや慣れ親しんだ床屋への送迎の支援や通院や往診など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者、家族の希望や要望に応じて医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、医師、利用者・家族と相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけなど支援されている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースを尊重して、リハビリエステや理美容室への支援や食事の準備や掃除、ぬり絵や外食、外出ツアーなど本人の希望に沿った支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と一緒に楽しんで食事の準備をしたり後片付けなどしている。また、利用者の希望のメニューや旬のもの、外食などが支援されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴日は、週3回を目安に支援している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かして、もやしのひげとりなどの食事の準備やおやつ作り、ぬり絵やクリスマスなど行事参加、回転寿司や焼肉バイキングなどの外食など気分転換のための機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	円山動物園見学やラーメン、寿司などの外食、生協での買い物や散歩など戸外に出かけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、鍵をかけていない。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力のもと火災避難訓練が年2回、自主防災訓練が実施されている。また、緊急の連絡網も見やすい場所に掲示されている。</p>		<p>今後は、救急救命訓練も継続的に実施されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスやカロリーについても把握され、具体的な水分・食事摂取量が記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下や居間などの共用空間では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。玄関前には、プランターで花が植えられていたり、ベンチが配置され、日光浴を楽しむことができるように配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、家族の写真やテレビなどの電化製品、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。